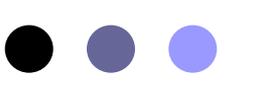


**2019年3月期  
決算説明資料**

**2019年4月26日  
信越化学工業株式会社**



# 目 次

● 業績の概要	P 1
● 決算の主要項目	P 2
● セグメント別 売上高と営業利益	P 3
売上高と営業利益（構成比）	P 4
設備投資額と減価償却額	P 5
● 各セグメントの概況	
塩ビ・化成品事業	P 6
シリコン事業	P 7
機能性化学品事業	P 8
半導体シリコン事業	P 9
電子・機能材料事業	P 10
加工・商事・技術サービス事業	P 11
● 各セグメントのトピック	P 12
● SDGsと経営の統合	P 14
● セグメント別 売上高の推移	P 15
営業利益の推移	P 16
● 連結財務諸表 比較損益計算書	P 17
比較貸借対照表	P 18
比較キャッシュ・フロー計算書	P 19
● 配当金の推移	P 20
● 参考データ	
1) 平均為替レートの推移	P 21
2) 市場別売上高	P 22
3) セグメント別資産	P 22
4) トピックス	P 23
5) 主な設備投資	P 24

# 業績の概要

(億円)

	連 結		
	2018年3月期	2019年3月期	増 減
売 上 高	14,414	15,940	(10.6%) 1,526
営 業 利 益	3,368	4,037	(19.9%) 669
経 常 利 益	3,403	4,153	(22.0%) 750
親会社株主に帰属する純利益	※ 2,662	3,091	(16.1%) 429
R O I C (注)	18.2%	21.5%	3.3ポイント
R O E (注)	11.9%	12.8%	0.9ポイント
R O A (注)	12.2%	14.0%	1.8ポイント
1株当たり			
純 利 益	※ 624円	726円	102円
年 間 配 当 金	140円	(予定) 200円	60円

※ 米国税制改正による繰延税金資産・負債取崩の影響  
親会社株主に帰属する純利益 298億円の増加  
1株当たり純利益 70円/株の増加

(注) ROIC (投下資本利益率) =  $\frac{\text{税引後営業利益} (*)}{\text{純資産} + \text{有利子負債} - \text{手持資金}}$   
ROEは自己資本純利益率、ROAは総資産経常利益率。

(\*) 税引後営業利益は、上記 ※の影響額を除いて算出。

# 決算の主要項目

(億円)

	連 結	
	2018年 3月期	2019年 3月期
純 資 産	24,130	25,325
総 資 産	29,031	30,387
1株当たり純資産	5,512円	5,915円
設 備 投 資 額	1,762	2,406
減 価 償 却 額	1,120	1,375
研 究 費	517	564
有 利 子 負 債 残 高	155	146
期 末 従 業 員 数	20,155人	21,735人
為替レート : 1-12月平均 (注)	112.2円	110.4円
(US\$) 4-3月平均	110.9円	110.9円

(注) 1-12月平均の為替レートは、海外子会社の損益を連結する際に使用しました。  
 為替レートの推移は、P21参考データ「平均為替レートの推移」に記載しております。

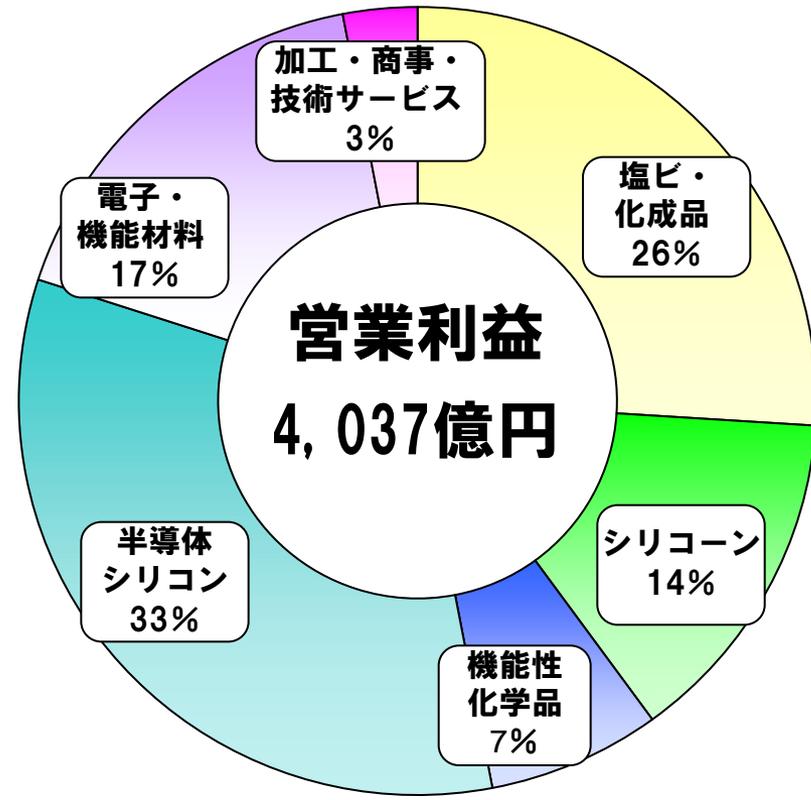
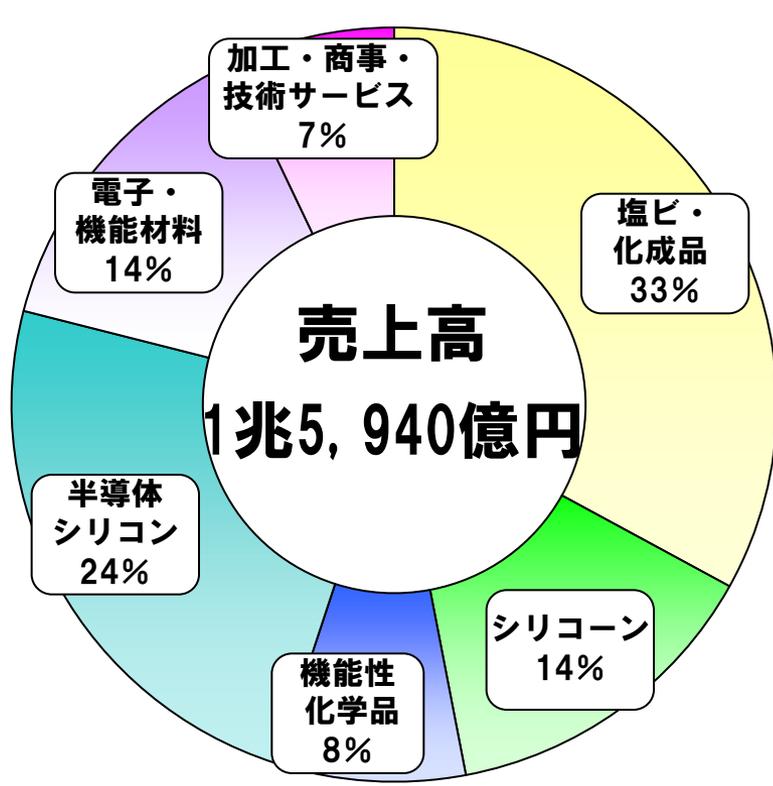
# セグメント別売上高と営業利益

(億円)

	売上高			営業利益		
	2018年 3月期	2019年 3月期	増減	2018年 3月期	2019年 3月期	増減
塩ビ・化成品	5,013	5,242	(4.6%) 229	932	1,065	(14.2%) 133
シリコン	2,062	2,333	(13.1%) 271	519	585	(12.7%) 66
機能性化学品	1,171	1,211	(3.4%) 40	257	266	(3.4%) 9
半導体シリコン	3,083	3,803	(23.3%) 720	929	1,319	(42.0%) 390
電子・機能材料	2,074	2,260	(9.0%) 186	616	669	(8.7%) 53
加工・商事・ 技術サービス	1,007	1,087	(8.0%) 80	114	132	(15.8%) 18
合計	14,414	15,940	(10.6%) 1,526	3,368	4,037	(19.9%) 669

# セグメント別売上高と営業利益（構成比）

2019年3月期



# セグメント別設備投資額と減価償却額

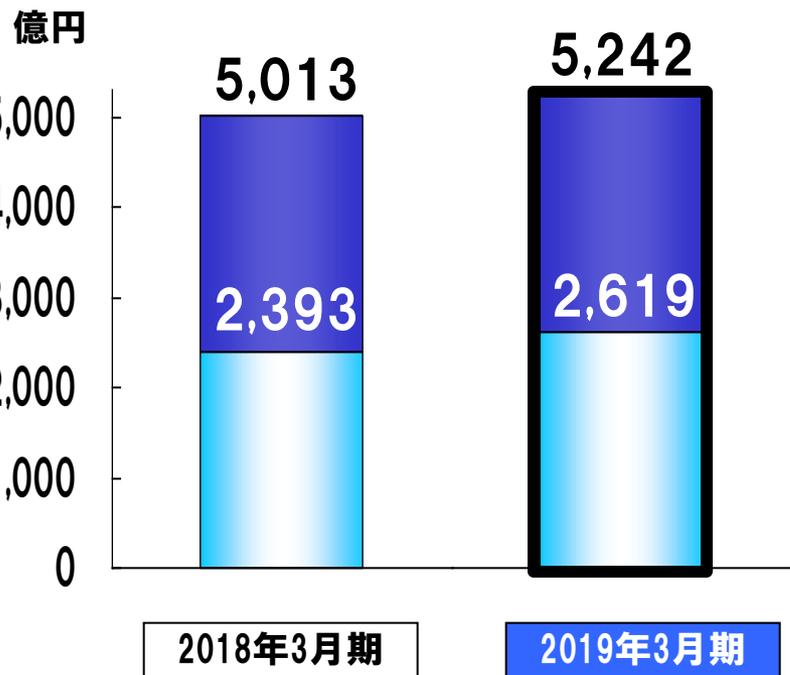
(億円)

	2018年 3月期	2019年 3月期
<b>設 備 投 資 額</b>	<b>1,762</b>	<b>2,406</b>
塩ビ・化成製品	636	764
シリコン	291	282
機能性化学品	70	180
半導体シリコン	515	693
電子・機能材料	202	401
加工・商事・技術サービス	50	88
<b>減 価 償 却 額</b>	<b>1,120</b>	<b>1,375</b>
塩ビ・化成製品	329	328
シリコン	122	146
機能性化学品	101	106
半導体シリコン	324	537
電子・機能材料	201	207
加工・商事・技術サービス	43	51

# 塩ビ・化成品事業

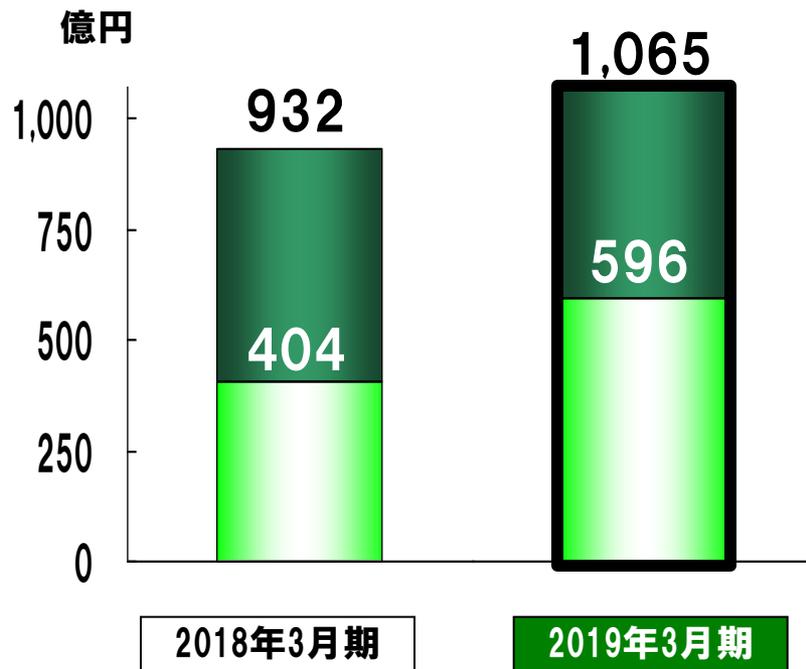
## 売上高（億円）

■ 年間売上高  
■ 上半期売上高



## 営業利益（億円）

■ 年間営業利益  
■ 上半期営業利益

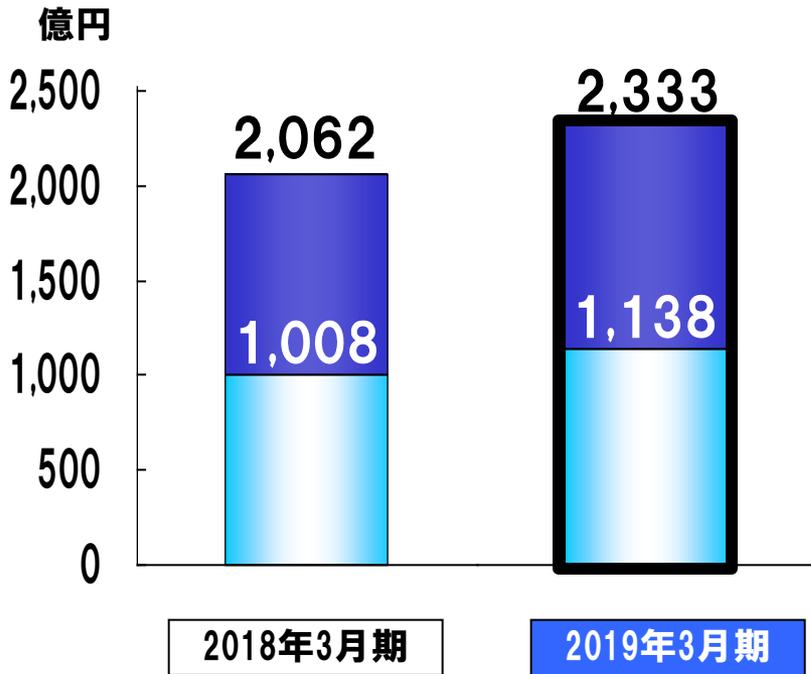


- 塩ビ・化成品は、米国のシンテック社において、米国内の有利な原料事情を背景に、塩化ビニル、か性ソーダともに高水準の出荷を継続し、業績を伸長させました。
- また、欧州拠点も市況が底堅く推移し、販売量を伸ばし好調でした。
- 国内拠点は期前半の大規模定期修理の影響により、海外向けの出荷が減少しました。

# シリコーン事業

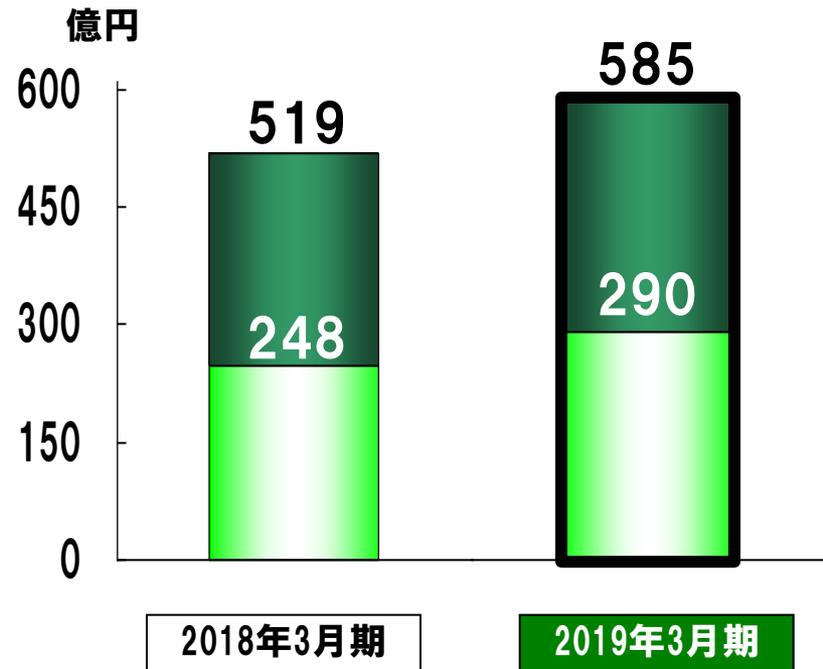
売上高（億円）

■ 年間売上高  
■ 上半期売上高



営業利益（億円）

■ 年間営業利益  
■ 上半期営業利益

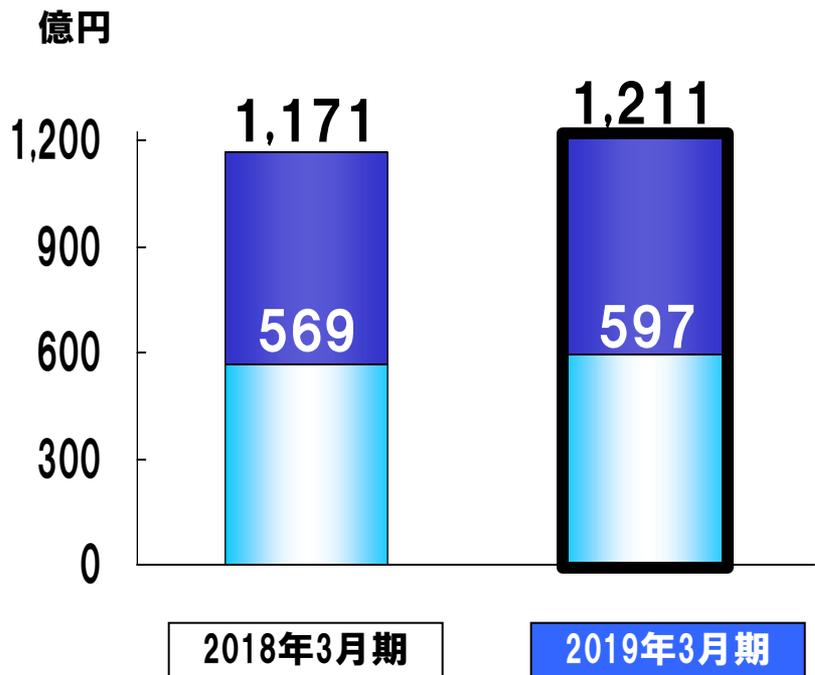


- シリコーンは、汎用製品、機能製品ともに価格の修正を行うとともに、全世界での堅調な需要に対応して、最大限生産し完売した結果、業績を伸長させました。

# 機能性化学品事業

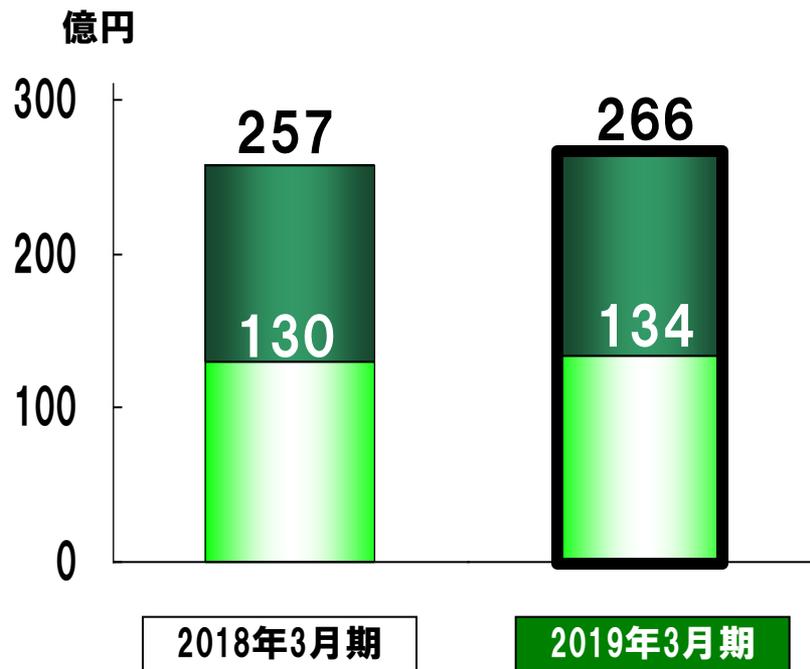
## 売上高（億円）

■ 年間売上高  
■ 上半期売上高



## 営業利益（億円）

■ 年間営業利益  
■ 上半期営業利益



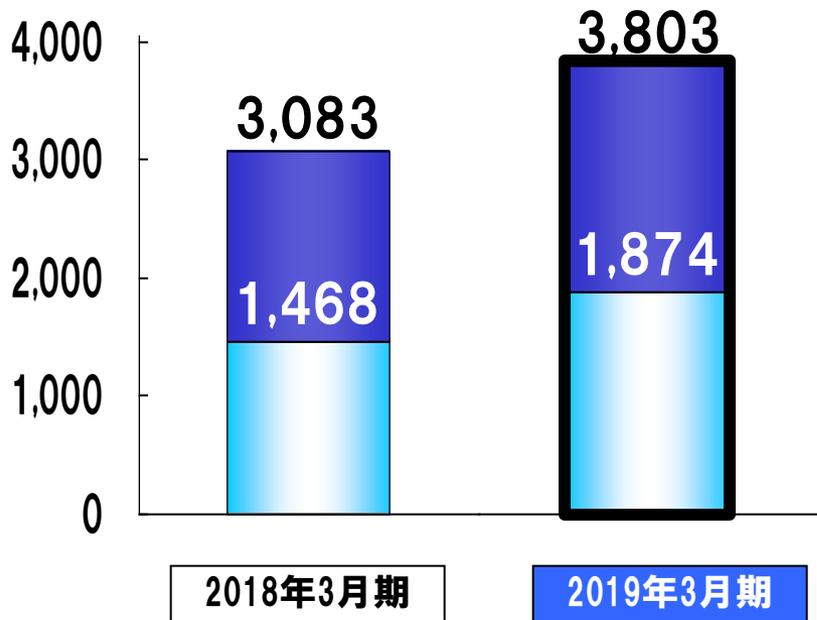
- セルロース誘導体は、医薬用製品が好調な出荷を続けるとともに、建材用製品及び塗料用製品も底堅く推移しました。
- フェロモン製品やポバール製品ほかも総じて堅調な出荷となりました。

# 半導体シリコン事業

## 売上高（億円）

■ 年間売上高  
■ 上半期売上高

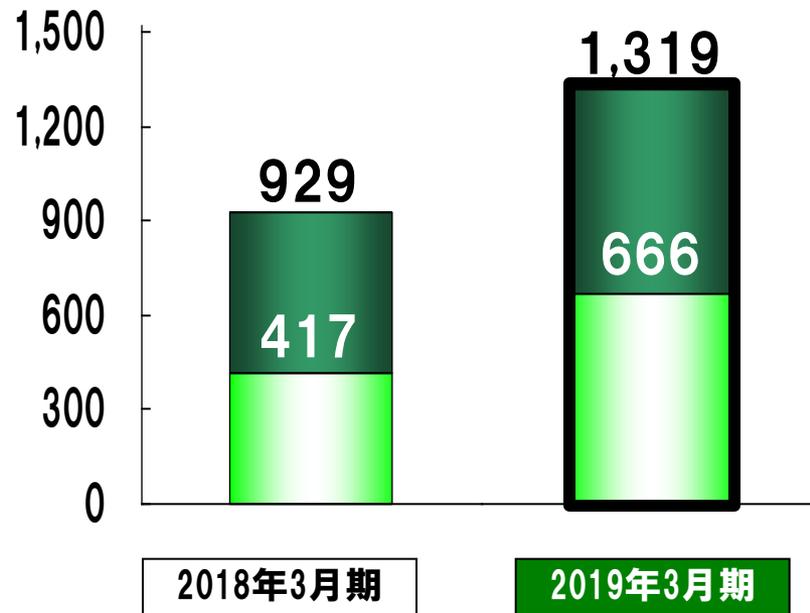
億円



## 営業利益（億円）

■ 年間営業利益  
■ 上半期営業利益

億円



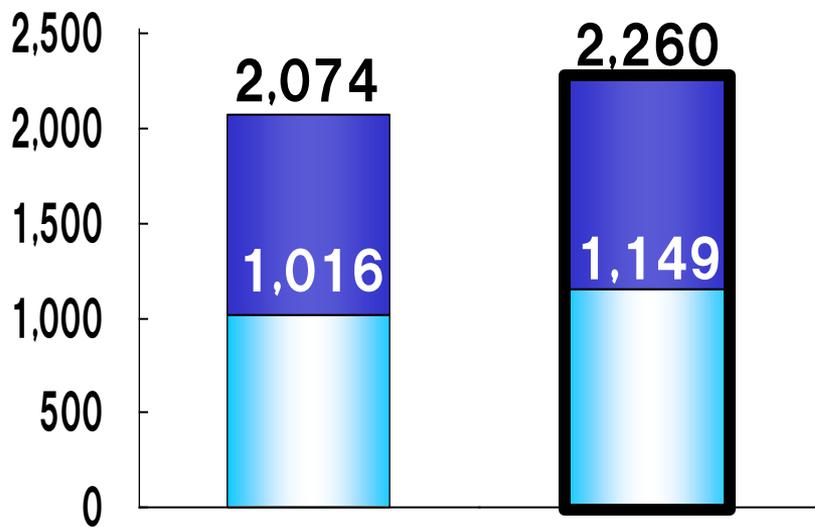
- 半導体シリコンは、堅調な出荷に加え製品価格の修正も寄与し、業績は伸長しました。

# 電子・機能材料事業

## 売上高（億円）

■ 年間売上高  
■ 上半期売上高

億円



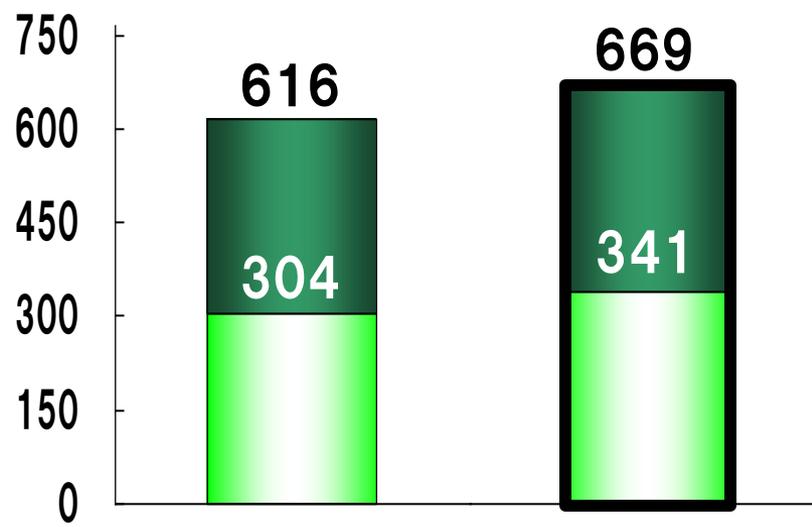
2018年3月期

2019年3月期

## 営業利益（億円）

■ 年間営業利益  
■ 上半期営業利益

億円



2018年3月期

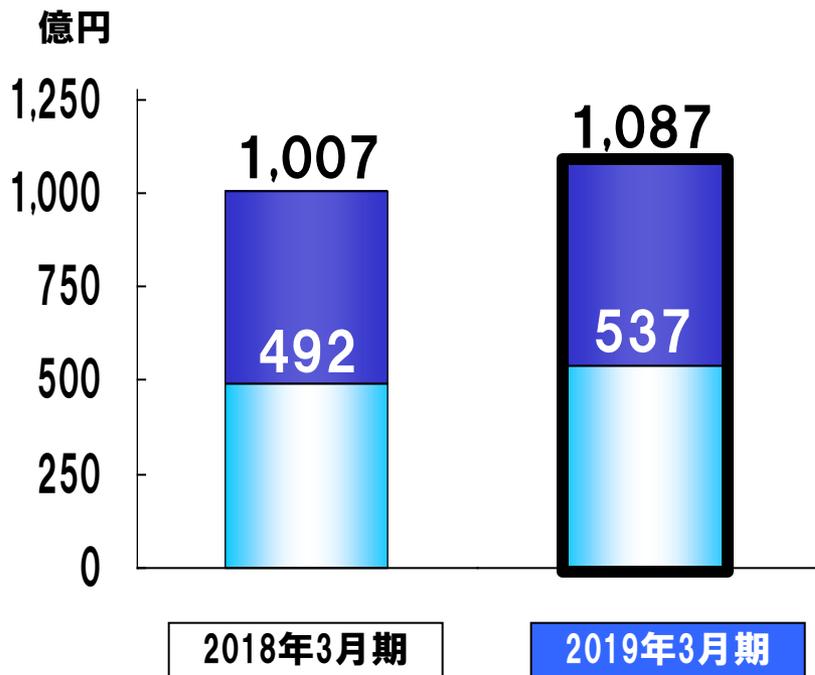
2019年3月期

- 希土類磁石は、期後半より一部用途で顧客での在庫調整が見られましたが、ハイブリッド車をはじめとする自動車向けが引き続き好調な出荷となりました。
- フォトレジスト製品は、KrFレジスト、ArFレジスト及び多層レジスト材料のいずれも堅調に推移しました。
- マスクブランクスは、最先端品に加え、汎用品、先端品も販売を伸ばし好調でした。
- 光ファイバー用プリフォームは、光ファイバー需要に減速感が出てきましたが、中国の合弁会社での販売は堅調さを持続しました。

# 加工・商事・技術サービス事業

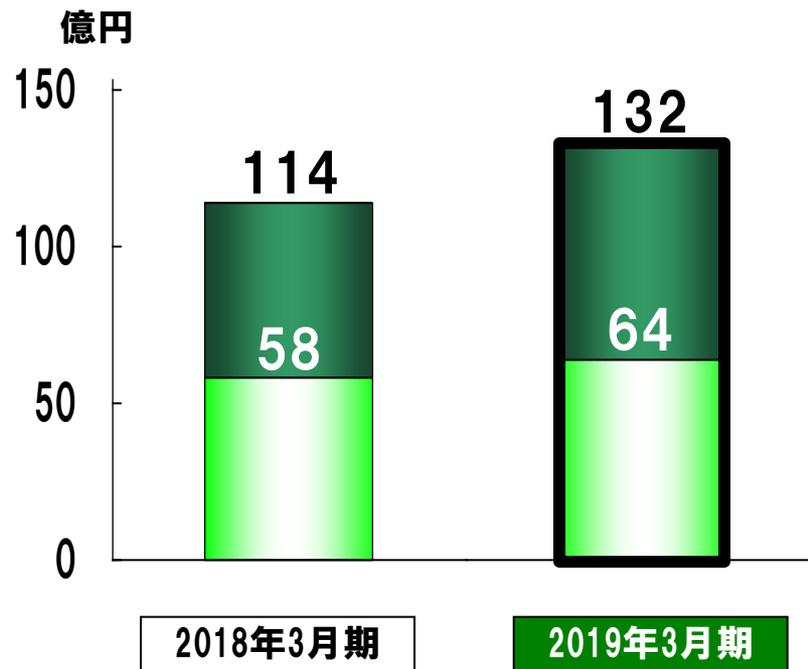
## 売上高（億円）

■ 年間売上高  
■ 上半期売上高



## 営業利益（億円）

■ 年間営業利益  
■ 上半期営業利益



- 信越ポリマー社の半導体ウエハー関連容器が高水準の出荷を継続し、好調に推移しました。

## ● ● ● | 各セグメントのトピック

### ➤ 塩ビ・化成品事業

今後の市況については、

- ◆ 二つの「インド問題」の解消に注目：輸入塩ビに対する反ダンピング課税のサンセットレビューの結果とか性ソーダの輸入再開。
- ◆ 原油価格と極めて相関性の高い塩ビアジア市況（相関係数0.83）の反転に期待。

### ➤ シリコン事業

- ◆ 昨年9月に発表したモノマー、ポリマーの生産能力増強投資計画（1,100億円）の進捗状況は、投資金額ベースで2019年3月期は60億円、2020年3月期は473億円の見込み。
- ◆ 汎用品の市場は調整が終わり、現下安定。当社はこれまで通り、機能品、高付加価値品、顧客特注品の拡張を推進。

### ➤ 半導体シリコン事業

シリコンウェハーマーケットは調整局面に在るが、在庫調整は進んでいる。デバイス需要動向を注視。

## ● ● ● | 各セグメントのトピック（続き）

### ➤ 機能性化学品事業

当社の有するシリコン、ポバール、セルロース、フッ素ポリマー、その他 高分子材料を融合ないし複合することで、解をお客様に提供（”Cross Material Development”の推進）。

### ➤ 電子・機能材料事業

- ◆ 次世代環境車のモーター数は、車台数の伸び、電動化の進展により、年率24%で増えていくという予測もあり、自動車向け希土類磁石の需要は今後増加の見込み。
- ◆ リソグラフィ材料を中心とする機能性材料は、最近の買収事例に見て取れるように、市場の伸びは堅調。

### ➤ 加工・商事・技術サービス事業

主要関係会社の信越ポリマーとの協業を深め、新たに価値を導き出す。

# ● ● ● | S D G s と経営の統合

- 2019年度のグループ経営目標で、「SDGsへの貢献」を新たな指針とし、以下の点に取り組んで参ります。
  - ◆ SDG s 課題の解決に資する素材の提供
  - ◆ 省エネルギー、省資源を極め、環境負荷を低減
  
- 以下の機能を提供していくことで、生活を向上し市場の課題の解決に取り組めます。
  - ◆ データの入力・処理・伝達・出力
  - ◆ ネットワークへの接続性能
  - ◆ 資源やエネルギーの効率利用
  - ◆ 生産性の向上
  - ◆ スマート社会の基盤構築
  - ◆ 健康増進



# セグメント別売上高の推移

## [売上高]

(億円)

	2018年3月期					2019年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間計	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間計
塩ビ・化成品	1,135	1,257	1,256	1,363	5,013	1,231	1,387	1,374	1,249	5,242
シリコン	499	509	521	532	2,062	556	582	598	596	2,333
機能性化学品	283	286	312	289	1,171	305	292	325	288	1,211
半導体シリコン	714	753	786	828	3,083	909	964	981	947	3,803
電子・機能材料	491	524	525	532	2,074	560	588	577	534	2,260
加工・商事・ 技術サービス	237	255	258	256	1,007	272	265	294	255	1,087
<b>合 計</b>	<b>3,362</b>	<b>3,586</b>	<b>3,661</b>	<b>3,803</b>	<b>14,414</b>	<b>3,836</b>	<b>4,080</b>	<b>4,151</b>	<b>3,871</b>	<b>15,940</b>

# セグメント別営業利益の推移

## [営業利益]

(億円)

	2018年3月期					2019年3月期				
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間計	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	年間計
塩ビ・化成品	176	228	247	280	932	263	333	312	155	1,065
シリコン	121	127	135	135	519	135	155	167	127	585
機能性化学品	65	65	63	63	257	68	66	75	56	266
半導体シリコン	197	219	245	267	929	300	366	373	280	1,319
電子・機能材料	150	153	153	158	616	160	181	183	145	669
加工・商事・ 技術サービス	28	29	25	31	114	30	34	40	27	132
<b>合 計</b>	<b>741</b>	<b>821</b>	<b>870</b>	<b>934</b>	<b>3,368</b>	<b>954</b>	<b>1,138</b>	<b>1,153</b>	<b>790</b>	<b>4,037</b>

# 比較損益計算書（連結）

（億円）

	2018年度 3月期	2019年度 3月期	増減
売上高	14,414	15,940	(10.6%) 1,526
売上原価	9,630	10,399	769
販売費・一般管理費	1,416	1,503	87
営業利益	3,368	4,037	(19.9%) 669
営業外損益	34	116	82
経常利益	3,403	4,153	(22.0%) 750
税金等調整前純利益	3,403	4,153	(22.0%) 750
法人税・住民税・事業税	※702	1,013	311
非支配株主に帰属する純利益	38	48	10
親会社株主に帰属する純利益	※2,662	3,091	(16.1%) 429

※米国税制改正による繰延税金資産・負債の取崩額 298億円(益)が含まれております。

# 比較貸借対照表（連結）

（億円）

	2018年 3月末	2019年 3月末	前期末比		2018年 3月末	2019年 3月末	前期末比
<b>流動資産</b>	17,029	17,504	475	<b>流動負債</b>	3,784	3,918	134
現金・預金	8,545	8,266	△279	支払手形 買掛金	1,368	1,410	42
受取手形 売掛金	3,328	3,387	59	短期借入金	70	70	0
有価証券	1,973	2,154	181	未払法人税等	589	457	△132
たな卸資産	2,820	3,294	474	その他	1,755	1,980	225
その他	361	401	40				
<b>固定資産</b>	12,002	12,882	880	<b>固定負債</b>	1,116	1,143	27
有形固定資産	8,997	9,879	882	長期借入金	84	76	△8
機械装置 運搬具	4,548	4,459	△89	その他	1,032	1,066	34
その他	4,448	5,419	971	<b>負債合計</b>	4,901	5,061	160
無形固定資産	94	87	△7	<b>株主資本</b>	22,899	24,367	1,468
投資その他の資産	2,910	2,915	5	その他の包括 利益累計額	613	288	△325
投資有価証券	1,454	1,416	△38	新株予約権 非支配株主持分	617	669	52
その他	1,456	1,498	42	<b>純資産合計</b>	24,130	25,325	1,195
<b>資産合計</b>	29,031	30,387	1,356	<b>負債・純資産 合計</b>	29,031	30,387	1,356

（注）改正税効果会計基準を遡って適用した資産及び負債合計への影響

2018年3月末の資産及び負債合計額は、前期開示した金額よりそれぞれ 51億円の減少

# (ご参考) 貸借対照表 前期末比増減の内訳

(億円)

	2018年 3月末	2019年 3月末	前期末比	内訳			2018年 3月末	2019年 3月末	前期末比	内訳	
				海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減					海外子会社 換算レート差 による影響	実質増減
流動資産	17,029	17,504	475	△213	688	流動負債	3,784	3,918	134	△39	173
現金・預金	8,545	8,266	△279	△119	△160	支払手形 買掛金	1,368	1,410	42	△15	57
受取手形 売掛金	3,328	3,387	59	△51	110	短期借入金	70	70	0	△1	1
有価証券	1,973	2,154	181	0	181	未払法人税等	589	457	△132	△6	△126
たな卸資産	2,820	3,294	474	△42	516	その他	1,755	1,980	225	△18	243
その他	361	401	40	△2	42	固定負債	1,116	1,143	27	△21	48
						負債合計	4,901	5,061	160	△60	220
固定資産	12,002	12,882	880	△169	1,049	株主資本	22,899	24,367	1,468	0	1,468
有形固定資産	8,997	9,879	882	△158	1,040	その他の包括 利益累計額	613	288	△325	△321	△4
無形固定資産	94	87	△7	△3	△4	新株予約権 非支配株主持分	617	669	52	△1	53
投資その他の 資産	2,910	2,915	5	△8	13	純資産合計	24,130	25,325	1,195	△322	1,517
資産合計	29,031	30,387	1,356	△382	1,738	負債・純資産 合計	29,031	30,387	1,356	△382	1,738

# 比較キャッシュ・フロー計算書（連結）

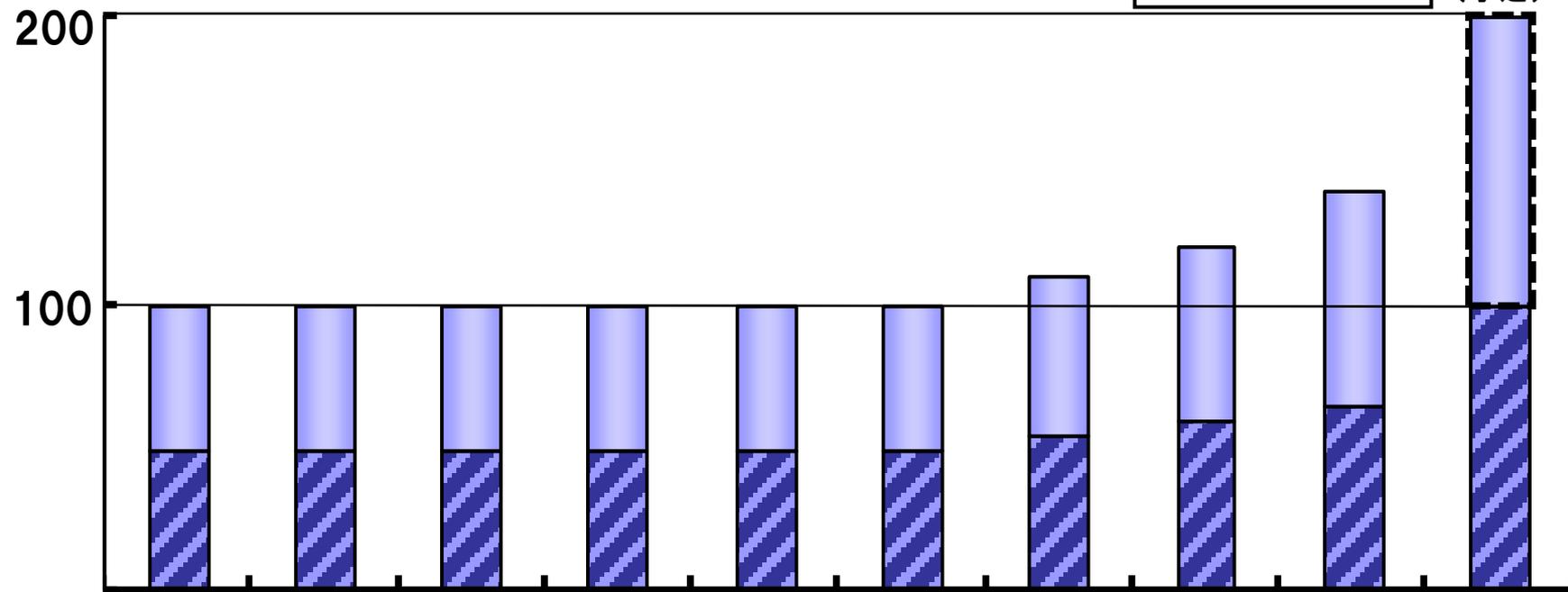
（億円）

	2018年 3月期	2019年 3月期	増 減
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	3,327	4,006	679
税金等調整前純利益	3,403	4,153	750
法人税等の支払額	△ 747	△ 1,215	△ 468
減価償却費	1,120	1,375	255
運転資本の増減額	△ 438	△ 545	△ 107
その他	△ 8	239	247
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 2,376	△ 1,815	561
設備投資支出	△ 1,637	△ 2,281	△ 644
譲渡性預金ほか有価証券増減額	△ 469	△ 32	437
定期預金の増減額	△ 226	551	777
その他	△ 43	△ 52	△ 9
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 500	△ 1,645	△ 1,145
借入金増減額	11	△ 4	△ 15
配当金支払額	△ 533	△ 746	△ 213
自己株式取得額	△ 0	△ 894	△ 894
その他	22	0	△ 22
<b>IV 換算差額ほか</b>	19	△ 66	△ 85
<b>現金・現金同等物増減額</b>	471	478	7
<b>現金・現金同等物残高</b>	7,804	8,283	478
<b>有利子負債残高</b>	155	146	△ 9

# 配当金の推移

● ● ●  
円/株

■ 年間配当金  
■ 上半期配当金 (予定)



		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
配当金	上半期	50円	50円	50円	50円	50円	50円	55円	60円	65円	100円
	年間	100円	100円	100円	100円	100円	100円	110円	120円	140円	※ 200円
1株当たり 当期純利益	年間	197.5円	235.8円	237.0円	248.9円	267.2円	302.0円	349.5円	412.9円	624.3円	726.0円
配当性向	年間	50.6%	42.4%	42.2%	40.2%	37.4%	33.1%	31.5%	29.1%	22.4%	※ 27.5%

## 1) 平均為替レートの推移

		US\$ (円/\$)				EUR (円/€)					
		3カ月の トレンド (ご参考)	6ヵ月		12ヵ月		3カ月の トレンド (ご参考)	6ヵ月		12ヵ月	
			1~6月 7~12月	4~9月 10~3月	1~12月 ※	4~3月		1~6月 7~12月	4~9月 10~3月	1~12月 ※	4~3月
2017年	1~3月	113.6	112.4	112.2	110.9	121.1	121.6	126.3	126.7	129.7	
	4~6月	111.1				122.2					
	7~9月	111.0	111.1			130.4	131.7				
	10~12月	113.0	112.0			133.0					
2018年	1~3月	108.3	108.7	110.4	110.9	133.2	131.6	129.8	130.4	128.4	
	4~6月	109.1				130.1					
	7~9月	111.5	110.3			129.6	129.2				
	10~12月	112.9	112.2			128.8					
2019年	1~3月	110.2	111.6			125.1		127.0			

(期末日レート) 2017年12月末 113.00    2018年3月末 106.24    2017年12月末 134.94    2018年3月末 130.52  
 2018年12月末 111.00    2019年3月末 110.99    2018年12月末 127.00    2019年3月末 124.56

※ 1~12月平均為替レートは海外子会社の損益を連結する際に使用しております。

## 2) 市場別売上高

(億円)

	日本	海外					計	連結
		米国	アジア・オセアニア		欧州	その他		
			うち、中国					
2018年3月期	26%	23%	32%	10%	11%	8%	74%	14,414
	3,738	3,357	4,581	1,383	1,621	1,116	10,676	
2019年3月期	26%	22%	33%	10%	12%	7%	74%	15,940
	4,131	3,563	5,311	1,528	1,827	1,106	11,808	

(注) %は連結売上高に占める割合を示しています。

## 3) セグメント別資産

(億円)

	塩ビ・化成品	シリコン	機能性化学品	半導体シリコン	電子・機能材料	加工・商事・ 技術サービス	全社	連結
2018年3月末	8,101	2,518	1,674	7,399	2,539	1,490	5,307	29,031
2019年3月末	8,794	2,820	1,743	8,273	2,947	1,604	4,203	30,387

(注) 簡略的な方法により作成しております。

## ● ● ● | 参考データ

### 4) トピックス (2018年4月1日 ~ 2019年4月26日)

- 2018年 4月 自己株式の消却を発表
- 2018年 7月 シンテック社が塩化ビニル樹脂 (PVC) の一貫工場の新增設を決定 (アメリカ)
- 2018年 9月 シリコーンの主要拠点 (7か国) の生産能力増強を発表 (群馬、タイなど)
- 2018年 9月 塩化ビニル樹脂 (国内) の値上げを発表
- 2018年10月 マスクブランクスの生産能力増強を発表 (福井県、新潟県)
- 2019年 3月 自己株式取得に係る事項の決定 及び 自己株式消却に係る事項の決定を発表

★ 上記トピックスの詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。 <http://www.shinetsu.co.jp/jp/news/>

# 参考データ

## 5) 主な設備投資

★: 完成 ☆: 完成予定

会社名(場所)	内容	投資金額	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
			1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H	1H	2H
シンテック社(アメリカ)	エチレンの工場新設	14億ドル					☆					
シンテック社(アメリカ)	PVCの新増設 (塩からPVCの一貫工場)	14.9億ドル								☆		
信越化学(埼玉・東松山)	シリコンゴムの成形及び 加工のテクニカルセンター拡張	—	★									
信越化学(群馬、直江津)	シリコン機能製品の 生産能力増強	200億円	★	※1	→							
アジア・シリコンズ・モノマー社(タイ) シンエツ・シリコンズ・タイランド社(タイ)	シリコンの生産能力増強	200億円			★							
信越化学(直江津)	機能性シランの工場建設	23億円			★							
シンエツ・シリコンズ・オブ・アメリカ社(アメリカ)	シリコン製品の生産能力増強	24億円					☆					
信越化学および海外主要拠点(群馬、タイなど)	シリコンモノマー、ポリマーの 生産能力増強	1,100億円				※1	→			☆		
信越化学(直江津) SEタイロース社(ドイツ)	セルロースの製造設備増強	200億円						☆				
シンエツ マグネティック マテリアルズ ベトナム社(ベトナム)	レア・アースマグネットの 生産能力増強	50億円				★						
信越電子材料股分有限公司(台湾)	フォトレジスト関連製品の 工場新設	130億円				★						
信越化学(武生、直江津)	マスクブランクスの生産能力増強	140億円						直江津 ☆			武生 ☆	
信越化学(鹿島) 信越(江蘇)光棒有限公司(中国) 長飛信越(湖北)光棒有限公司(中国)	光ファイバー用プリフォームの 生産能力増強	180億円						☆				